

安全報告書

2024年版

株式会社 MEリゾート 但馬
おじろスキー場

香美町小代ゴンドラリフト
小代第1 リフト
小代第2 ペアリフト
小代第4 ペアリフト

索道安全報告書（2024年）

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃よりご利用とご理解を賜り、誠にありがとうございます。当社、株式会社MEリゾート但馬は、「安全の確保」をその企業行動指針の第一として掲げ、すべての役職員は行動しており、皆様に安心してマウンテン・レジャーを楽しんで頂けるよう、法令遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、安全輸送の取組みと実態について、広くご理解いただくために公表するものであります。皆さまからの声に耳を傾け輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社MEリゾート但馬
代表取締役社長 一ノ本 智毅

2. 基本方針と目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、代表取締役以下従業員に周知・徹底しております。

1. 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
2. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（本規程を含む。以下、「法令等」という。）をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
3. 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
4. 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
5. 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
6. 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。

7. 常に問題意識を持ち、必要な改革に取り組むよう努めること。

(2) 安全目標

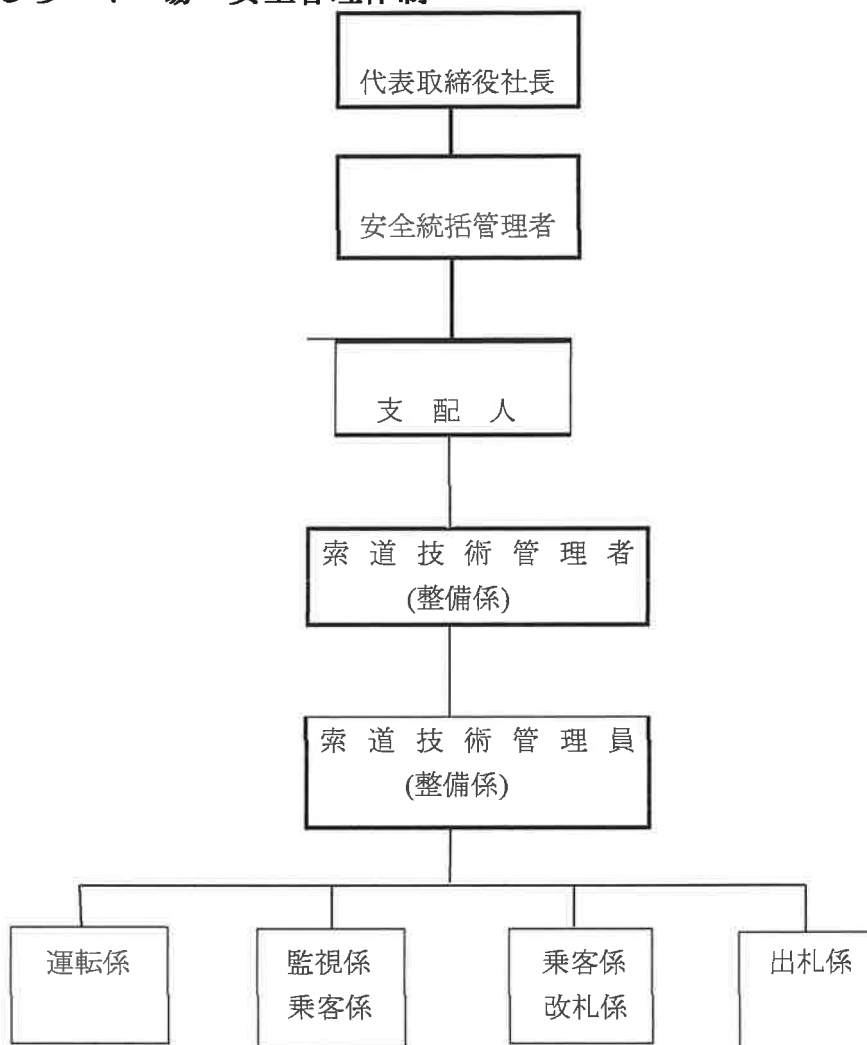
索道輸送安全目標（2023年）は次表のとおりです。今年度も索道運転事故（人身傷害事故）の発生はなく、無事に終了することが出来ました。引き続き従業員一同、安全意識の向上を掲げ、目標達成に向けて取り組む所存です。

区分	項目	内容
定量的な目標	索道運転事故	発生件数0を目指す

3. 事故等の発生状況とその防止策

- ① 索道運転事故（索道人身障害事故）
令和5年度は索道人身事故は起きていません。
- ② 災害（暴風雪・暴風・暴風雨・豪雪・地震など）
令和5年度は、災害等はありませんでした。
- ③ インシデント（事故が発生するおそれがあると認められる事態）
令和5年度は、インシデント報告はありませんでした。
- ④ 行政指導等
令和5年度は、行政指導はありませんでした。

4. おじろスキー場 安全管理体制



5. 輸送の安全確保のための取り組み

① 教育訓練

当社では、毎年、シーズン開始前に安全教育と、救助訓練を実施しております。

② 安全のための施設メンテナンス

令和5年度は、

- ・香美町小代ゴンドラリフト 通信線交換
山麓、山頂運転制御盤更新

- ・小代第1リフト 風速計更新

- | | |
|------------|---------------|
| ・小代第2ペアリフト | 風速計更新 |
| ・小代第4ペアリフト | モーターカーボンブラシ交換 |

6. 利用者の皆様の連携とお願い

- (1) 「お客様の声をかたちにしていきます」より安全で信頼される索道（リフト）運行を行うため、皆様からお寄せいただいた声を役立てています。お客様の期待に応えられるよう努めて参ります。
- (2) リフト乗車時の注意事項
 - ①リフト乗車に不慣れなお客様は、係員にその旨を申し出て下さい。
 - ②空き缶・タバコの吸殻・その他の物品を、乗っているリフトから投げ捨てないで下さい。
 - ③搬器（いす）から飛び降りたり、搬器（いす）を揺らさないで下さい。【脱索（ワイヤーが外れる）事故の要因になります。】
 - ④衣服・携帯品・髪の毛などが、施設に巻き付かないように注意して下さい。
 - ⑤改札後は係員の指示に従って下さい。
 - ⑥止まる、転ぶという最低限の技術がない場合はリフトのご乗車をご遠慮ください。
 - ⑦リフトは緊急停止する場合がございます。また、停止が長引く場合には、救助を行うこともありますので、お子様だけの乗車は避け、保護者の方の同乗をお願いいたします。
 - ⑧リフトの下り線乗車はできません。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒667-1503

兵庫県美方郡香美町小代区大谷463

株式会社MEリゾート但馬 おじろスキー場

tel : 0796-97-2717

mail : info@ojiro.or.jp